

会 議 録

1 会議名

平成29年度第5回三和区地域協議会

2 議題

(1) 委員研修について（公開）

(2) その他（公開）

・地域活動支援事業のアフターフォローについて（公開）

・地域協議会だよりの発行について（公開）

3 開催日時

平成29年10月5日（木）午後6時30分から午後7時33分まで

4 開催場所

三和コミュニティプラザ 2階 会議室1

5 傍聴人の数

1人

6 非公開の理由

—

7 出席した者の氏名

・委員：飯田英利、江口一秋、金井茂康、江口 晃、小林則子、高橋鉄雄、星野幸雄
松井隆夫、松井 孝、丸山孝明、宮沢和一、森 由美、渡邊政則

（14人中13人出席）

・事務局：三和区総合事務所 佐藤所長、山岸次長、柳崎市民生活・福祉グループ兼教育・文化グループ長、保坂班長、飯田副主任（以下、グループ長はG長と表記）

8 発言の内容（要旨）

【山岸次長】

- ・会議の開会を宣言
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告。
- ・同条例第8条第1項の規定により、議長は会長が務める。

【松井 孝会長】

— 挨拶 —

- ・会議録の確認：飯田委員に依頼。

【松井 孝会長】

議題 (1)「委員研修について」に入る。

前回の地域協議会での協議により、11月に福島大学の牧田先生をお招きすることでどうかと決定いただいた。それについて先般、正副会長と事務局で打合せを行なった。

その結果について、事務局から報告をお願いしたい。

【山岸次長】

牧田先生の招聘について、主管課の自治・地域振興課と協議したことを報告する。

- ・牧田先生は9月29日に頸北地区協議会委員研修会に来られることから、短期間に再びお願いすることは失礼にあたるのではないか。
- ・牧田先生は、講演先の地域の状況等について、事前に調査・研究をされてこられる方である。
- ・上越市との関わりも深く、今までのお付き合いの中で、年1回程度の来越が望ましいと考えられる。

このようなことから、牧田先生の招聘について、再考いただきたいとのことであった。

このことを正副会長にお伝えし協議したが、今回、牧田先生、あるいは他の大学の先生をお招きすることは困難であるかと思われる。

しかし、委員研修会は開催すべきだとの委員の皆さんの決定であるため、もし、差し支えなければ、正副会長と協議した研修案をお示ししたいがよいか。

【松井 孝会長】

ただ今、事務局から説明のあったとおり研修案を示し、協議することでよいか。

(異議なし)

- *資料No.1「委員研修会 (案)」を配付。

【山岸次長】

資料No.1「委員研修会 (案)」について説明。

- ①テーマ：「人口・世帯数の動向から考える三和区の将来」

講師：上越市創造行政研究所

*ディスカッションの時間を設ける。

②テーマ：「地域協議会の現状と課題について」

講師：自治・地域振興課長

【松井 孝会長】

ただ今、事務局から2つのテーマで提案があったが、委員の皆さんから意見をいただきたい。

【高橋委員】

テーマ：②となった場合は、講師の自治・地域振興課長とのディスカッションを、是非行ってもらいたい。

【山岸次長】

その場合は、質疑・応答の他に、ディスカッションも行えるよう自治：地域振興課長に依頼したい。

【佐藤所長】

テーマ①の上越市創造行政研究所の研修は、1時間30分ほどを想定しているが、委員の皆さんの話も聞きたいであろうと考えている。

テーマ②の自治・地域振興課長の研修は、昨年、委員さんも変わられており、地域協議会とはから始まるものと考えている。両方のテーマを行うとすれば、2時間30分程度となると思われる。

研修時間を考慮して1テーマに絞ったが、2テーマを同時に研修されてもよければ、検討をお願いしたい。

【松井隆夫委員】

地域協議会委員として研修に臨むのであれば、テーマ①と②を同時に実施してもらいたい。しかし、研修時間の制約があればテーマ①を研修したい。

【江口 晃委員】

出来ることなら開催時間を調整しながら、テーマ①と②を同時に実施してもらいたい。

【宮沢委員】

時間の制約もあるので、テーマを一つに絞ってもらいたい。

【松井隆夫委員】

研修会の開催時間の検討は、事務局としてどこまでされたのか教えてもらいたい。

【佐藤所長】

テーマ：①の創造行政研究所の研修時間は1時間とし、ディスカッションも入れて1時間30分程となる。自治・地域振興課長も今まで開催された他会場の研修時間も質疑、応答を含めて1時間程であったと報告を受けている。

問題なのは、委員の皆さんが2時間30分間の研修を受けられるのかどうかである。

【小林委員】

テーマ①と②を同時に研修してもよいと思う。

【飯田委員】

研修テーマを2案とも受けたい。研修会の開始時間を午後3時としてもらえれば、私は研修会に参加したいと思う。

【渡邊委員】【星野委員】

テーマ①と②を同時に研修してもらいたい。

【松井 孝会長】

それでは、委員の皆さんの希望が多かった、2つのテーマで研修することとしたい。

研修時間も一つ1時間15分程度とし、質疑・応答、ディスカッションも含めて行い、途中の休憩時間も考慮しながら、2時間30分程度とすることでどうか。

(異議なし)

【佐藤所長】

研修会テーマ①と②の時間設定は、こちらからの依頼どおりに行ってもらえると思う。

【松井 孝会長】

研修時間は2時間30分程度とする。なお、ディスカッションでは、講師に失礼のない範囲で意見交換をしてもらいたい。

については開催時期はいつがよいのか、事務局案はあるか。

【山岸次長】

11月中旬から12月上旬でどうかと考えている。

【松井 孝会長】

12月に入らないほうがよいと思うので、研修会の開催希望日は11月中旬から11月下旬とし、開始時間は午後3時として事務局から設定してもらおうことでよいか。

(異議なし)

それでは、事務局に日時などの調整をお願いしたい。

【松井 孝会長】

次に、議題 (2) 「その他」に入る。

事務局から何かあるか。

【保坂班長】

- ・地域活動支援事業のアフターフォローについて

地域活動が終了した4事業を担当する委員に、実績報告書の写しを送付した。

担当委員間でアフターフォロー日を決定され、事務局まで連絡をお願いしたい。

提案団体に事務局で日程調整して、委員の皆さんに連絡する。

- ・平成30年度さんわ祭り実行委員の選出について

地域協議会委員から実行委員1人を選出願いたいとの依頼があった。

第1回さんわ祭り実行委員会が、10月30日午後5時30分に開始される。

実行委員の選出締切日は特にない。

【松井 孝会長】

ただ今、事務局から説明があったが、意見を伺いたい。

【高橋委員】

さんわ祭り実行委員選出についてだが、今年度のさんわ祭り実行委員会の活動内容や結果報告がわからないので、その点を実行委員会事務局からお聞きしてから、委員を選出したほうがよいのではないか。

【松井隆夫委員】

高橋委員の意見と同じだ。名目だけの委員とならないように慎重に委員選出を決めたほうがよいと思う。

【佐藤所長】

昨年度は地域協議会から委員を選出していないので、活動内容や結果がわからないのではないか。

【江口 晃委員】

前向きに物事を捉え、委員から実行委員を選出することで、さんわ祭りを盛り立てていくべくではないか。

【宮沢委員】

地域協議会委員として傍観するだけではなく、さんわ祭りに関わるべきだと思うので、実行委員を選出してはどうか。

【松井 孝会長】

できればどなたか1人を選出していただきたい。

【宮沢委員】

委員の皆さんから、さんわ祭りに関わるべきとの意見統一がなされれば、私は委員になってもよいと思っている。

【金井副会長】

地域協議会委員として、さんわ祭りを盛り立てることで意見統一をしていただいて、宮沢委員に実行委員をお願いしたい。

【佐藤所長】

情報提供するが、3年前から三和区ネットワーク会議を開催している。地域協議会の正副会長もご出席いただいているが、主な構成員は三和区振興会正副会長、三和商工会長、上越市社会福祉協議会三和支所長、えちご農協三和支店長さんなどで、ご意見をいただきながら、さんわ祭りを合同で開催したらよいのではないかと模索している。

そのネットワーク会議を10月12日に開催する予定でいるが、そこで出た意見を10月30日開催のさんわ祭り実行委員会で諮る予定である。

【松井 孝会長】

地域協議会として、さんわ祭りに積極的に関わることを委員間で意思統一し、宮沢委員に実行委員をお願いしたいがよいか。

(異議なし)

【松井 孝会長】

最後に次回の会議について、事務局から説明をお願いします。

【山岸次長】

次回の会議は、委員研修会日程、自主的審議事項の協議、平成30年度地域活動支援事業の採択基準等の協議もあるので、12月上旬に開催したい。

日程については、会長・副会長と事務局で相談して決定したいので、一任させてもらいたい。

(一同、異議なし)

【金井副会長】

それでは、平成 29 年度第 5 回三和区地域協議会を閉会とする。

10 問合せ先

三和区総合事務所 総務・地域振興グループ TEL : 025-532-2323 (内線 215)

E-mail : sanwa-ku@city.joetsu.lg.jp

11 その他

別添の会議資料も併せてご覧ください。